

JILPT 調査シリーズ

No.136

2015年3月

正社員の労働負荷と 職場の現状に関する調査

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



正社員の労働負荷と 職場の現状に関する調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

本調査は、プロジェクト研究「非正規労働者施策等戦略的労働・雇用政策のあり方に関する調査研究」の中で取り組んだものである。

本調査の問題意識は、近年の若年層での非正規雇用比率の上昇の背景の一つとして、正社員の労働負荷が過重となっていることがあるのではないかとこのところから始まっている。労働負荷が過重となっている正社員はどのような職場環境でどのような意識を持って働いているのか。過酷な職場環境の中で「使い捨て」にされれば、次の仕事では、正社員という働き方を忌避するような将来展望になるのではないか。精神的、肉体的ストレスの大きい職場で働く若年雇用者の意識、離職傾向はどのようなものか――。

調査は、全国の15～34歳の正社員を対象とし、産業間比較が出来るようにサンプルを確保した。調査トピックは採用時の状況や賃金、残業、教育訓練、目標管理、本人の満足度や今後の職業生活などをきいている。また、調査対象者の職場の正社員の置かれている状況、例えば「大量離職と大量採用が繰り返されている」や「入社から約3年でほぼ全員が離職する」といった事柄を設問から把握し、離職につながりやすい職場の様相を分析した。

正社員とそうでない者の格差が大きな社会問題となっている中で、労働負荷も含めた正社員の働き方の変容が今後も注目される。本調査シリーズが今後の政策や研究の一助になれば幸いである。

2015年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 菅野 和夫

『正社員の労働負荷と職場の現状に関する調査』

調査研究担当者（五十音順）

氏名	所属	執筆担当（初出順）
おくだ 奥田 栄二	労働政策研究・研修機構 主任調査員補佐	第 I 部執筆 調査設計、データク リーニング、集計
おの 小野 晶子	労働政策研究・研修機構 主任研究員	全体とりまとめ 調査設計、調査票作成、 データクリーニング、集計
こばやし 小林 徹	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	調査設計
なかの 中野 諭	労働政策研究・研修機構 研究員	調査設計、データク リーニング

○上記以外の研究参加者

阿部正浩 中央大学経済学部 教授
 小倉一哉 早稲田大学商学部 准教授
 森山智彦 下関市立大学経済学部 特任教員
 浅尾 裕 労働政策研究・研修機構 特任研究員
 梅澤眞一 労働政策研究・研修機構 元統括研究員（～平成 26 年 3 月）
 田原孝明 労働政策研究・研修機構 統括研究員（平成 26 年 9 月～）
 高橋康二 労働政策研究・研修機構 研究員
 前浦穂高 労働政策研究・研修機構 研究員

目 次

第 I 部 調査概要

第 1 章 調査の目的と方法	1
1. 調査の趣旨・目的	1
2. 調査名	1
3. 調査方法（調査対象等）	1
4. 調査実施時期	1
5. 配信数及び回収数	1
6. 回答者属性	2
7. 回答者が属する企業の属性	3

第 2 章 調査結果の概要

1. 回答者が属する事業所の状況	4
1-1. 現在働いている事業所の正社員の状況	4
1-2. 働いている事業所の正社員の離職状況	5
2. 採用時の状況	8
2-1. 採用ルート	8
2-2. 新卒者の採用試験（面接含む）の回数	10
2-3. 採用前に実施したこと	12
2-4. 会社選定理由「入社しやすかったから」	13
2-5. 採用前に提示された求人情報と実際の労働条件との間のギャップ	16
2-6. 初任給	20
3. 仕事内容、教育訓練と職場での労働負荷	23
3-1. 仕事内容	23
3-2. 仕事量・仕事のやり方の裁量度	24
3-3. 役職者の最初の役職任用時の勤続年	25
3-4. 新人習得（ひととおり仕事をこなせるようになるために必要な期間）	28
4. 教育訓練とキャリア	30
4-1. 教育訓練	30
4-2. キャリアや能力に対する認識	33
5. 目標管理・進捗管理・成果の評価	35
5-1. 目標管理	35
5-2. 進捗管理	37
5-3. 成績や業績による月給の低下の有無	41

5-4. 月給の低下の有無からみた、ノルマ・目標、業務上の経費の自己負担に対する認識	43
5-5. 個人間競争の激しさ	44
6. 職場の人との交流状況	46
7. 労働時間	49
7-1. 残業時間	49
7-2. 持ち帰り残業	53
7-3. 残業理由	55
8. 年休付与と年休取得日数	57
9. 年収	61
10. 適用されている社会保険制度等	64
11. 職場に対する認識と満足度、将来意向	66
11-1. 職場に対する認識	66
11-2. 満足度	68
11-3. 今後の職業生活と就業形態	70
11-4. 男女別にみた今後の職業生活	72
11-5. 今後希望する雇用形態	74

第Ⅱ部 資料

調査票	77
付属統計表	
・基礎集計	95
・産業別集計	169